

日本医史学会役員氏名(五十音順)

理事長	小川 鼎三	理事	守屋 正	常任理事	大島蘭三郎	會計監事	大塚 恭男	理事	大塚 健也	石原 力	大滝 紀雄	大塚 恭男	大島蘭三郎	緒方 富雄	小川 鼎三	蒲原 宏	酒井 シヅ	酒井 恒	杉田 暉道	鈴木 シヅ	酒井 恒	中野 操	長門谷洋治	富土川英郎	藤野恒三郎	古川 明	三木 栄	矢数 道明	谷津 三雄	矢部 一郎	山形 敏一	蔵方 宏昌	酒井 シヅ	杉田 暉道	谷津 三雄	矢部 一郎	評議員	青木 允夫	赤堀 昭	安芸 義雄	今市 正義	岩治 勇	江川 義雄	大島 智夫	岡田 博	岡田 靖雄	奥村 武	片桐 一男	川喜田愛郎	川島 恂二	久志 本常孝	蔵方 宏昌	榊原悠紀田郎	末中 哲夫	杉立 義一	鈴木 宜民	関根 正雄	瀬戸 俊一	高木圭二郎	高瀬 武平	高山 坦三	田代 逸郎	田中 助一
-----	-------	----	------	------	-------	------	-------	----	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

編集後記

ゴールデン・ウィークも過ぎて、巷にも緑の色が一段と深まりをみせてきたようである。第八十三回日本医史学会総会を目前にして、この後記を書いている。今年の総会は御案内のように守屋先生を会長として京都で開かれることになっているが、演題数が予想を上廻る盛況で、一部二会場制をとられたり、更には誌上発表に廻されるなど盛況の故の御苦労があったようである。年々成長を続ける学会の動きを反映するものだが、特に近年著しい傾向は二十代、三

津田 進三	筒井 正弘	土屋 重朗	阿知波五郎	赤松 金芳	石川 光昭	大矢 全節	王丸 勇	佐藤 美実	杉 靖三郎	三廻 俊一	吉岡 博人	山中 大木	米田 正治	渡辺左武郎	山田 重正	山田 光胤	安井 広	守屋 正	矢数 圭堂	山下 喜明	三浦 豊彦	三輪 卓爾	室賀 昭三	本間 邦則	丸山 博	松木 明知	深瀬 泰旦	福島 義一	堀江 健也	中山 沃	服部 敏良	樋口誠太郎	中川 米造	中沢 修	中西 啓
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	------

十代の実力派会員の急増であろう。医史学会における第三世代の登場と呼ぶべきか、ともかく嬉しい現象である。京都の学会が楽しみである。(大塚恭男)

昭和五十七年 四月二十五日 印刷
 昭和五十七年 四月三十日 発行
 日本医史学雑誌
 第二十八巻第二号
 編集者代表 大 鳥 蘭 三 郎
 発行者 日本医史学会
 代表 小川 鼎三
 〒二三 東京都文京区本郷 二一
 順天堂大学医学部 医史学研究室内
 振替 東京 六一五三〇番
 三報社印刷株式会社
 〒二六 東京都江東区亀戸